

県 誌 報

特集/平成7年度富山県予算

とやま

TOYAMA PREFECTURAL REPORT



4
1995
No.315

花と緑と夢いっぱいの花園

富山県花総合センター(愛称:エレガガーデン)

レポーター:保育専門学院 古本由貴子さん
(表紙の人)



草花いっぱいの展示温室内

今回、私が訪れたのは、砺波市のチユールップ公園近くにある富山県花総合センター(エレガガーデン)です。ここでは、県民のみならず花に親しんでもらうため、草花の展示をはじめ、栽培技術や活用方法についての情報を分かりやすく紹介しています。さっそくセンターの西村さんに展示温室を案内してもらいました。ここには、熱帯植物や洋ランなど多種多様の植物が所狭しと展示されていて、見る人の目を惹きつけてくれます。実習温室に行くとき、カーネーションの品種特性の研究が行われていました。西村さ

培養実験室



モデル花壇



んによると、品種改良によって何と黒いカーネーションもできてしまうそうです。また、本館には組織培養施設があり、草花の培養実験なども行われています。ちょうど私が訪れたときは、「春を呼ぶ花まつり」が開催されていて、本館の展示ホール内はスイセンやチューリップなど様々な草花で彩られていま

展示ホール「春を呼ぶ花まつり」



カーネーションの品種調査(実習温室)

このほか、センター敷地内には、「葉用草花園」、「万葉花園」など、テーマ別の花園やきれいに整備された花壇があり、楽しく学びながら散策できるようになっています。みなさんも、春の遊びを歌いはじめた花たちに出会い、エレガガーデンを訪れてみませんか?

精神的な成長で

勝ち取った栄冠

富山インタハイ冬季大会 男子大回転優勝 山田慎一さん



4 CONTENTS

4月号もくじ

表紙	撮影/赤羽仁諭(富山県写真家協会会員)
表2	とやま遊学感/花総合センター(エレガガーデン)
1	ひとアズとやま/山田慎一さん(富山インタハイ冬季大会男子大回転優勝)
2	特集/「しあわせに生きる富山県」の創造をめざして/平成七年度富山県予算
8	PINUPPTOYAMA 写真/滝川邦彦(日本写真家協会会員) 詩/山本哲也(富山現代詩人会会員)
10	ふるさとみてある記(山田村)
12	①木のコテージ 木MAMA
13	②彫刻家 中林和雄さん
14	③山田村ふるさと塾
16	エッセイ/佐伯安一(砺波郷土資料館館長)
17	富山県における主要プロジェクト
18	富山県全県域下水道化構想
19	県からのお知らせ
20	暮らしのアドバイス
21	とやまの祭事記/宮崎の稚児舞(朝日町)



「地元開催ということで、ずっとインタハイに照準を合わせてきました。優勝が決まったときは、嬉しいというよりもやっと終わったという感じでしたね。」と、富山インタハイ冬季大会の男子大回転で県選手として初の優勝を成し遂げた山田慎一さん(富山第一高校)。「小さいころ、父によくスキー場に連れていってもらいました。父は特にうまかったわけではないんですけどね。」小学校二年生のとき魚津のジュニア・レーシングチームに、中学ではスキー部に所属してめきめき上

達。「中学時代は県内の大会でよく優勝していたんですが、全国大会では優勝候補といわれながらプレッシャーに負けて、いつも入賞どまりでした。今回勝てたのは、精神的に強くなったからだと思います。」

「百分の一秒を争うスキー競技。いくら実力があっても、その時のコンディション、経験、そして運がなければ勝てない。と山田さんはいいます。「何が起るかわから



インタハイで果敢な滑りを見せる山田選手/北日本新聞社提供

表紙	とやま遊学感/花総合センター(エレガガーデン)
表2	ひとアズとやま/山田慎一さん(富山インタハイ冬季大会男子大回転優勝)
1	ひとアズとやま/山田慎一さん(富山インタハイ冬季大会男子大回転優勝)
2	特集/「しあわせに生きる富山県」の創造をめざして/平成七年度富山県予算
8	PINUPPTOYAMA 写真/滝川邦彦(日本写真家協会会員) 詩/山本哲也(富山現代詩人会会員)
10	ふるさとみてある記(山田村)
12	①木のコテージ 木MAMA
13	②彫刻家 中林和雄さん
14	③山田村ふるさと塾
16	エッセイ/佐伯安一(砺波郷土資料館館長)
17	富山県における主要プロジェクト
18	富山県全県域下水道化構想
19	県からのお知らせ
20	暮らしのアドバイス
21	とやまの祭事記/宮崎の稚児舞(朝日町)

「しあわせに生きる富山県」の創造をめざして

平成七年度富山県予算

平成七年度の県予算の編成にあたっては、間近に迫った二十一世紀を展望しつつ、厳しい財政環境のなかにあっても、県民が夢と希望を持てるよう、最大限の努力をしました。

第一に、今年度が新県民総合計画の前期事業計画の最終年度であることから、総合福祉会館(仮称)、とやま健康村(仮称)、中央植物園、とやま女性総合センター(仮称)、全県域下水道化構想、全県域公園化構想などの主要プロジェクトを着実に推進します。また、平成八年度に開催される全国都市緑化とやまフェア、国民文化祭、さらに二〇〇〇年国体に向け、諸準備を進めていきます。

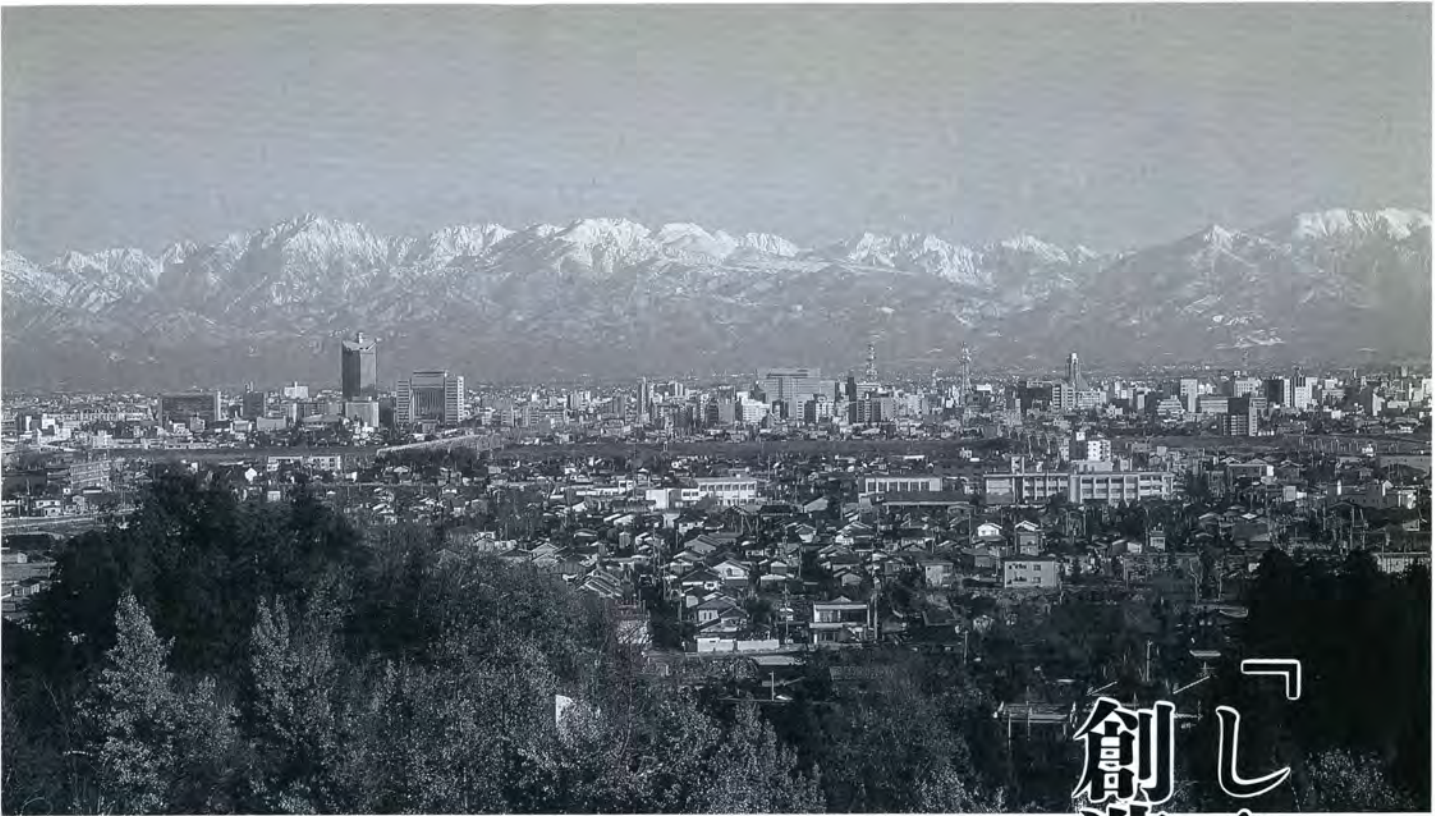
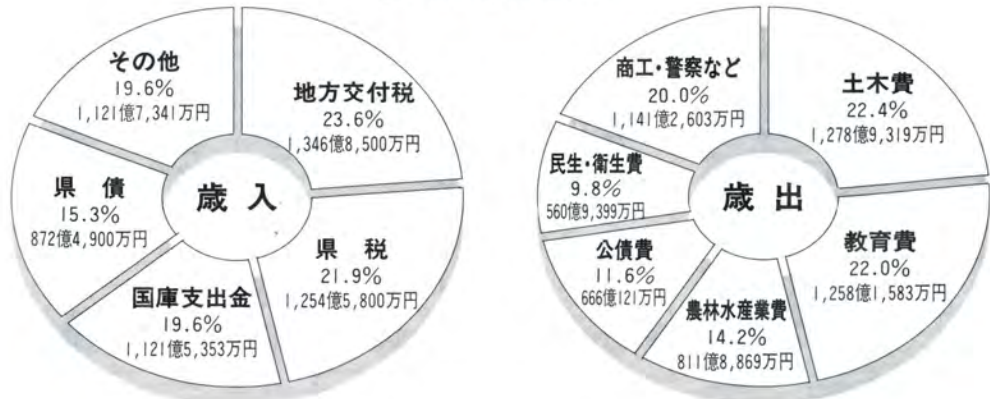
第二に、県民の福祉・健康づくりとして、高齢者保健福祉計画に基づいた高齢者対策の拡充にきめ細かく配慮するほか、少子化対策にも取り組みます。

第三に、現在の緊急の課題や時代のニーズに的確に対応することとし、ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意に即した農業農村対策に取り組むとともに、阪神・淡路大震災を教訓とした防災対策の強化を進めます。

以下、「明日を拓く人づくり」、「魅力ある郷土づくり」、「活力ある産業づくり」の三大政策に沿って主要な事業を紹介します。

平成7年度一般会計歳入・歳出予算額

5,717億1,894万円



明日を拓く人づくり

〔2、088億3、862万円〕

一、健康・福祉の増進

(866億2、380万円)

☆社会福祉の充実

福祉の中核を担う総合福祉会館(仮称)の整備に向け、基本設計を行います。また、健康・福祉人材センターにおける介護実習普及センター事業の導入、富山女子短期大学福祉学科の整備に対する助成を行うなど、福祉・医療に携わる人材の育成に努めます。高齢者に対しては、高齢者保健福祉計画に基づき、ホームヘルプサービス事業、デイサービス事業などを拡充するほか、高齢者等が暮らしやすいバリアフリーモデル住宅を建設・展示し、普及を図ります。

さらに、一時的に児童をあずかる保育所に対し新たに助成するほか、事業所内保育施設に対する助成制度を創設するなど、子どもを生み育てやすい環境づくりに努めます。

このほか、望ましい子どもの遊び環境づくりのあり方を示す、遊び創造プランの策定に取り組みます。



☆健康づくり・医療の充実

県民の健康づくりの中核拠点となる「とやま健康村(仮称)」の基本設計および実施設計を進めます。

また、五月に新診療棟が運営を開始する県立中央病院の機能の充実に努めるとともに、引き続き公的病院の整備を支援します。さらに、患者サービスの向上のため、医療施設改善資金を創設します。

☆スポーツの振興

二〇〇〇年国体の開催に向け、競技力の向上を図るほか、西部総合体育館(仮称)をはじめカヌー場や室内プールの基本設計等を行うなど施設整備に努めます。また、富山県二〇〇〇年国体運営基金を創設します。



- ・中小企業従事者のがん検診機会の充実
- ・ボランティア基金の増額
- ・特別養護老人ホームやケアハウスなどの整備に対する助成
- ・県立長生寮の改築の実施設計
- ・高岡市に整備される身体障害者療護施設に対する助成



- ・セーナー苑授産施設の改築整備への助成
- ・精神障害者通所授産施設の整備への助成
- ・未就学児の入院医療費助成
- ・母子医療の拠点となる母子医療センターの設置検討

二、生涯学習の増進

(1、100億8、813万円)

☆生涯学習基盤の整備

昨年の全国生涯学習フェスティバルの成果を活かし、県民生涯学習フェスティバルを新川地域で開催するほか、社会人を対象としたリカレント教育の充



実に努めます。また、県立図書館の増築等の基本設計を行います。

☆学校教育の充実

県立高等学校については、小杉高校での総合学科の開設をはじめ、英語や福祉などの特別コースの教育内容の充実など、特色ある学校づくりを推進します。私立高等学校については、生徒急減期における経営基盤安定のため、経費助成を充実します。

三、科学・文化の増進 (53億8,825万円)

☆科学・文化を担う人の育成

県立大学の大学院博士課程の開設準備を進めるほか、新たに県内大学の大学院生を対象とした奨学金貸与制度を創設します。



☆芸術・文化活動の振興

平成八年度の国民文化祭とやま'96の開催に向け、五百日前プレイベントやブレ国民文化祭を実施するなど、諸準備を進めます。また、利賀芸術公園での自主企画事業の実施や周辺環境整備を行うほか、立山博物館の曼荼羅ゾーン等の野外施設の完成に向け諸準備を進めます。

魅力ある郷土づくり

〔2、307億4,384万円〕

一、快適な暮らしの実現 (415億9,087万円)

☆生活の安定と安全の確保

阪神・淡路大震災を教訓として、地域防災計画を様々な角度から見直し、災害対策本部の体制整備を進めるほか、農村下水道の整備 合併処理浄化槽の普及などを促進します。

☆自然の保護と利用

立山カルデラ砂防総合展示施設の実施設設計、立山自然保護センターの拡充のための基本計画策定に取り組みます。また、桂湖周辺の整備を進めます。

・日本海博物館 (仮称) の基本計画策定等、海のプラザ日本海ミュージアム構想の推進



▲立山カルデラ



二、魅力ある地域づくり (316億2,205万円)

☆花と緑の環境づくり

県立公園や県定公園、市町村の専門植物園の整備に対する助成、中央植物園の充実など全県域公園化構想を推進します。また、平成八年度の全国都市緑化とやまフェアの開催に向けては、イベント等の計画の策定、みつばちキャラバン隊(仮称)による宣伝誘客活動など諸準備を進めます。

☆県際交流等の推進

日本海国土軸や日本中央横断軸構想の推進を図るほか、飛越地域における日本の心のふるさとゾーン整備構想を推進するなど、県際交流を進めます。・新川地方拠点都市地域の計画策定についての指導、支援

三、県土の保全と活用 (906億3,124万円)

☆全県域下水道化の推進

神通川左岸および小矢部川流域下水道の建設を進

四、交通・情報通信体系の整備 (659億323万円)

☆広域交通体系の整備

北陸新幹線の石動金沢間および糸魚川・魚津間の建設工事の促進、また、新たに実施される富山駅の測量、設計などの整備事業が円滑に進むように協力します。また、北陸自動車道の四車線化、東海北陸自動車道、能越自動車道の建設を促進します。さらに、週二便で再開される富山・ウラジオストク間の国際定期便の利用増進を図るとともに、新たな路線開設に努めます。

この他、伏木外港の建設促進、新湊大橋(仮称)の地質調査の実施など、伏木富山港の整備拡充を図ります。



▼海王丸パーク

四、若者と女性の力を社会に (35億7,179万円)

みのり豊かな男女協同社会の実現を目指す活動拠点となる、とやま女性総合センター(仮称)の建設に着手します。また、若者の交流と定着を目指した各種施策の検討を進めるとともに工夫をこらしたシンポジウムを開催します。この他、県内の若手の代表者からなる委員会が県民からの提案を募集するなどの活動を行う「二〇〇X年 県民が燃えるプログラム事業」について、積極的に支援を行います。



☆快適な環境の形成

はじめ、地震津波の調査研究、消防防災ヘリコプターの導入など総合的な防災対策の強化を図ります。新たに地球温暖化のための地域計画を策定するほか、低公害車の導入、市町村におけるフロン回収設備に対する助成など、地球環境の保全に努めます。・住みよい家づくり資金の融資対象に新たに多子世帯住宅を追加

☆情報システムの整備と活用

世界的情報網であるインターネットの活用等により、コンピュータネットワークによる地域情報通信基盤の整備を進めます。また、県の行政情報を提供するパソコン通信ハローネットとやまについて、広く県民が利用できるような機能を充実させるほか、県庁情報通信システム(LAN)の基本計画を策定します。



▲ハローネットとやま(CIC内)

・県総合情報センター内にマルチメディア情報センターを開設

五、国際化時代への対応 (9億9,643万円)

☆国際交流・国際協力の推進

友好提携十周年を迎えるブラジルサンパウロ州とは、日本ブラジル修好百周年に合わせ、親善訪問団の派遣、記念式典の開催などを通じ、交流を一層進めます。また、中国遼寧省やロシア沿海地方からの研修員や留学生の受入れ、アメリカ・オレゴン州との職員、教員の相互派遣など交流を促進します。

この他、環日本海環境協力の推進のため、韓国江原道、ロシア沿海地方への調査団の派遣、中国遼寧省からの調査団の受け入れ、環日本海地域の環境保全に関する協力事業の拠点構想について調査検討を行います。

・県内すべての高校に外国語指導助手を配置



活力ある産業づくり

【1、140億141万円】

一、新世紀への産業展開

(16億4,947万円)

☆産業基盤の整備

円高や産業空洞化に対応した新産業・雇用の創出に向けて調査研究を行います。また、幅広いデザイン分野の支援拠点となる総合デザインセンター(仮称)の整備に向けての準備など、デザイン振興を図ります。

富山湾の深層水については、これを利用したサクラマスの増養殖研究を開始するとともに、非水産分野における利用についても研究の具体化に取り組めます。



深層水を利用したサクラマス飼育水槽(県水産試験場)

- ・農業技術センターのチューリップ遺伝資源センターの業務を開始
- ・企業の事務所等が立地する業務拠点地区(オフィス・アルカディア)整備に向けての諸準備
- ・畜産試験場の移転改築に着手

二、農林水産業の振興

(602億6,393万円)

☆たくましく魅力ある農業の確立

高齢化の進展や、ガット・ウルグアイ・ラウンドの農業合意による農畜産物の輸入拡大など、本県農業は大きな転機を迎えているため、今後の農林水産業の健全な発展を図るための対策を調査検討します。また、農地開発公社を発展的に改組、拡充した農業公社(仮称)を設置し、農地の流動化や担い手対策などの農業施策を一体的に推進していきます。

さらに、米づくりの低コスト化、省力化のため、カントリーエレベーター等の基幹施設の整備や無人ヘリコプター導入に対し助成を行うほか、おいしい富山米の生産振興のため販路拡大の取組みを支援します。

- ・肉用牛センターに高能力乳用牛を導入
- ・富山県林業カレッジを開校し、林業者の能力開発を推進
- ・拠点漁港漁村総合整備事業(マリノベーション)の推進と資源管理型漁業の定着促進



三、工業の振興

(444億9,138万円)

☆中小企業の振興

厳しい環境にある中小企業の経営安定を図るため、地域産業対策資金などの制度融資の確保を図ります。また、中小企業の新規創業者のための支援資金を創設するとともに、新分野進出等円滑化法に基づく支援措置の活用などにより、新分野への進出や新製品開発を支援します。

四、商業・サービス業の振興

(31億5,291万円)

☆商業の振興

商店街のアーケード等の商業基盤施設や顔づくり施設の整備に助成するほか、中小商業活性化基金を活用したにぎわい創出のイベントを支援するなど、魅力ある商店街づくりを進めます。



☆観光の振興

いきいき富山観光キャンペーンやようこそ富山キャンペーンの実施、幕張メッセで開催される旅フェア'95「旅の総合見本市」への参加など、観光と物産の宣伝活動を展開します。

和漢薬やバイオテクノロジーなど新分野の研究開発

五、雇用と勤労者福祉

(44億4,370万円)

☆雇用の安定

依然として厳しい雇用情勢に対応し、企業の雇用維持の取組みに対して支援するとともに、女子学生など新規卒業者の就職支援対策の充実、中高年齢者の再就職や六十歳定年の完全定着の促進など、雇用の安定を図ります。また、東京Uターン情報センター



▲昨年開催された第1回Uターンフェア

☆勤労者生活の充実

中小企業の労働時間短縮の促進や、育児休業法の全面適用に向けた普及啓発を行うほか、勤労者総合福祉センターの整備を促進し、勤労者福祉の増進に努めます。

施策の実施のために

【1、148億1,119万円】

☆計画県政の推進

今年度は、新富山県民総合計画の前期事業計画の最終年度であることから、その適切な進行管理を行うとともに、後期事業計画を策定します。

☆イメージアップ

新聞の全国紙等を活用した地域情報発信事業に取り組みほか、本県の魅力を分かりやすく紹介した総合紹介誌やビデオ、世界遺産に推薦された五箇山合

を策定します。

☆組織機構・職員定数

二〇〇〇年国体や国民文化祭、都市緑化フェアなどの大型イベントに備え、関連組織機構を改組充実します。

職員定数は、知事部局および警察職員については据え置き、教職員については、児童生徒数の減少に伴う学級減により、全体として百九十四人を減員します。

こ樹 愛す神混ゆまお こ樹
こ々 をべは沌つたたまここ
でよ ををは沌つたたまここ
待 啓てのま整りきえに
っ 示のま理腐ををつっ
が するものなくして復し
い へくしていく空時間と
い



富山市岩瀬にて撮影

撮影/滝川邦彦 詩/山本哲也
写真プレゼントについては16ページ参照

Pin
UP
Town
ピンナップとやま

山田村

山田村の概要

豊かな自然と温かい人情にあふれた美しい山里。老猿が傷をいやすのを見て発見されたという山田温泉は、静かな環境のなかでゆっくり静養するには最適。また、整備が進む牛岳温泉スキー場は、初級者から上級者まで楽しめるダイナミックなゲレンデとなっている。



素材の持ち味を活かした 欄間づくり

彫刻家 中林和雄さん



▲中林さん作の欄間「富貴長香」

「小さい頃から木を削ったりする事は好きだったけれど、まさか彫刻を生活の糧とするとは思いませんでした」と語るのは、村でただ一人の彫刻家として活躍している中林和雄さん。

高校卒業後、『木彫の町』井波で五年間修行を積み、再び村へ戻った中林さんは、以来、三十年近くにわたり制作活動が続いている。中林さんが主に制作するのは欄間。制作期間は、八畳間用の平均的なもので約二か月ほどだ。その間、「欄間をつくるときのポイント、木の持つ色むらや木目、どこに活かせるか、だるうね」と中林さん。材料となる国産のクスノキは、どこもどこも異なった色が縞の様に入り込んでくる特徴を持つ。それらをいかにうまく利用し、欄間の図案を組み立てていくかが、腕の見せどころだという。「一つ一つの素材はすべて違う色むらを持っているから、つくるたびに新しいものが生み出せる。そこが魅力だね。」と笑う中林さん。

将来の夢は、身近にある神社仏閣に自分の作品を献納することだそう。『やはり、自分の生きた証として、作品が何百年も後世に残ってほしいからね』中林さんの工房には、今日もノミの音がトントンと楽しそうに響いている。



▲作業中の中林さん



▲林の中に佇むコテージ

木の温もりが伝わります 森のコテージ MAMA

昨年十二月、牛岳温泉健康センターから歩いて五分程のところ、森のコテージ木MAMAがオープンした。オールシーズン自然を満喫できるレジャーリゾートの拠点として村が建設したものだ。

コテージは全部で九棟。うち二棟は、雪の結晶をかたどったユニークな形をしている。「木MAMA」というネーミングには、木の温もりのなかで気の向くままに過ごせるようにという思いが込められている。「別荘気分を気軽に味わっていただけるか、利用客の八割は家族連れなんです」と松島さん。今後は、バーベキューなどができるように周辺を整備されていく予定だ。また森林浴も楽しめるよう遊歩道を設ける構想もあるという。

おとぎの国のようなメルヘンチックな雰囲気漂わせながら林間に佇むコテージ。みなさんも自然に触れ、日頃の疲れを癒されてはいかがでしょうか。



▲管理人の松島さん



▲木の温もりが感じられるコテージ内

村づくりにかける熱い思い

山田村ふるさと塾

新しい村づくりを担う創造性豊かな人材を育成しようと、平成四年八月に村が開講した『山田村ふるさと塾』。

この塾では、住みよい村にしていくにはどうすればいいかをテーマに、講師を招いての後援会や学習会、県外先進地への視察などを行っている。現在受講しているのは二期生、十四名。年齢は、二十歳代から五十歳代で、職業も農家やサラリーマン、主婦と多彩だ。定められたカリキュラムの他に、いま塾生たちは、村への転入者や村出身の村外在住者を対象に、『山田村ってどんなむらアンケート』と名付けた調査を行っている。内側からは見えない山田村を把握し、今後の村づくりの方向を探るためだ。「回答には、もう村の発展は望めないのでは、という厳しいものもありますが、建設的な意見も数多くあり、いま一生懸命取りまとめ中です」と塾生の松本さん。今後は、これらを魅力ある村づくりのヒントにしていきたいという。

「この塾に入って、自分たちが村のために何ができるかを常に考えるようになった」と塾生たちは口を揃える。彼らの村を思う熱い思いは、新しい村づくりを押し進める原動力となっていくことだろう。



▶学習会での活発な意見交換



▶長野県波合村の村民ホールを視察



第一期生の活動をまとめた報告書

かいによ 屋敷林は母の胎内

砺波郷土資料館館長

佐伯 安一

毎年三月の中旬を過ぎると、小宅の庭へもウグイスがやってくる。鳴き声は近くなったり遠くなったりするから、近所三、四軒の屋敷林をテリトリにしているのであらう。風もなく暖かい日の朝で、春の来たことを実感し、しみじみと屋敷林の中に暮らしている喜びを味わうのである。

このところ、砺波散村の屋敷林はだんだん減少してきている。生活体系の変化で屋敷林が持っていたメリットが薄れ、逆にデメリットになってきたからである。たとえばスンバ（杉の落葉）。昔は大切な燃料であったが、プロパンガスが普及してからは厄介ものになってしまった。風雪を防ぐ役目も、新しい建材やアルミサッシの出現でそれほど必要でなくなってきた。庭の柿の木も実をつけたまま、落とされることはない。

しかし、である。ほんとうに屋敷林は邪魔ものであろうか。緑の環境としての屋敷林をもう一度見直し、新しいメリットを見つけ出していきたい。吹きさらしの家よりも屋敷林のある方が保温にもなり、建物の傷みも少ない。夏の炎天には日陰を作ってくれる。樹陰を通して吹く風は涼しい。最近流行の森林浴効果もある。

本来、住居は人間の巣である。巣は中から外が見

えて、外から中が見えないのが理想だという。屋敷林はよくその条件にかなっている。生け垣も外からの目をさえぎり、中から外が見えるから同じ効用がある。屋敷林があることによって私たちは母の胎内にいるような安らぎを覚えるのである。日本の住まいは、外の自然と一体になるように工夫されてきた。外側の戸を開け放つことによって、部屋は庭や木立に包まれる。縁や土縁は、屋内と庭の間にあいまい空間を作ることによって連続性を持たせるための仕掛けである。屋敷林がない場合は、外から見すかされないように壁やカーテンでさえぎらなければならぬ。戸も開けられない密室のような住まいは、散村の住人には堪えられない。

最近庭づくりも盛んであるが、庭木と石だけの庭にせず、屋敷林と組み合わせたい庭にしてほしいと思う。各戸に屋敷林があることによって、人工資材の多用によるうるさい造形を目隠しし、統一性のある集落景観を作ることができる。そして何よりも環境としての平野の緑を守ることができる。このような美しい集落が面として広がれば、今推進されている全県域公園化の「さとのゾーン」も巧まずして現出すると思うのだが。



快適な暮らしをさぐりえる下水道

【富山県全県域下水道化構想】

富山県では、県民のすべてが快適で活力あふれる暮らしや真に豊かな生活を実現できるよう、また、清らかな美しい郷土の建設を目指して、市街地、農山漁村を問わず県下全域の下水道整備を進めています。

下水道整備の現状

下水道の整備手法には、流域下水道⁽¹⁾、公共下水道⁽²⁾、特定環境保全公共下水道⁽³⁾、農村下水道⁽⁴⁾、ミニティプラント⁽⁵⁾、合併処理浄化槽⁽⁶⁾があります。流域下水道については、小矢部川流域下水道が対象区域内の全町村で供用を開始したほか、神通川左岸流域下水道も早期供用に向け整備が進められています。

また、公共下水道は平成五年度末現在、二十五市町村、特定環境保全公共下水道は十九市町村、農村下水道は二十八市町村、ミニティプラントは九市町村で事業が実施されています。さらに、合併処理浄化槽の設置に対する補助事業は十六市町村で実施されています。

このように、多くの市町村で下水道事業が実施されていますが、近年に着手した市町村が多いこともあり、下水道の普及率は、全国平均に比べやや低い状況にあります。

全県域下水道化構想

本県では、平成二年度に全国に先駆けて「全県域下水道化構想」を策定しました。この構想は、県と市町村が一体となって整合のとれた下水道整備を進めていくうえでの長期的指針となるも



凡 例	
未着手	
0~25 (%)	着手済・未供用
	供用済
25~50 (%)	
50~75 (%)	
75~100 (%)	

注) 1. 着手・未着手、供用・未供用の区分は建設省及び農林水産省所管事業の実施状況による。
2. 普及率は各種整備手法の総処理人口による。

構想では、先に述べた下水道の整備手法の中から地域の実情に即した最適な手法を選定して、県下全域にわたって均衡のとれた普及率の向上を目指しています。

整備目標

全県域下水道化構想では、下水道普及率を平成七年度末には四十九パーセント、平成十二年度末には七十二パーセントまで引き上げることを目標としており、全国平均の普及率に近づくこととなります。

県では、今後とも市町村と一体となって計画的、効率的な下水道整備に努め、全県域下水道化の早期実現に取り組んでいきます。

富山県の 主要プロジェクト

県からのお知らせ Information

募集

県政バス教室 参加者募集

5月から県政バス教室が始まります。今年には新たに「うるおいとゆとりのながめ」「まちのかお」「丘の夢」「立山カルデラ・砂防ウォッチング」の4コースを加えました。県政の動きや富山の良さを、自分の目で見て、体験して、感想などをお聞かせ下さい。お一人でも、グループや団体でも参加できます。親子の体験学習は、夏休みにどうぞ。※親子バスは、小学校3～6年生が対象です。※参加料は無料。ただし、入館料などの実費は参加者負担となります。

申込み・お問合せ
富山 企画部広報課 〒930-80 富山市新総曲輪1-7
富山県庁内 ☎0764-31-3131
高岡 高岡地方県民相談室 〒933 高岡市赤祖父2-1
高岡総合庁舎内 ☎0766-21-9411
魚津 魚津地方県民相談室 〒937 魚津市新宿10-7
魚津総合庁舎内 ☎0765-24-5311
砺波 砺波地方県民相談室 〒939-13 砺波市幸町1-7
砺波総合庁舎内 ☎0763-33-5151
申込み受付期間

5月運行分	4月1日(出)～4月8日(出)
6月運行分	4月14日(金)～4月24日(月)
7月運行分	5月8日(月)～5月19日(金)
8月運行分	6月1日(木)～6月15日(木)

犬の登録と予防注射の実施について

4月は、県下一斉に犬の登録と狂犬病予防注射が実施されます。飼主の方は、お近くの会場ですべて受けて下さい。注射の日時、場所等については最寄りの保健所又は市町村役場にお問い合わせ下さい。(市町村の広報紙等にも掲載)なお、狂犬病予防法が改正され、4月1日からは次のように変わりました。

- ①登録が年1回から終生1回となります。
- ②飼い犬が死亡したり、飼い主が変わった時等は、市町村への届出が義務付けられました。

詳しくは、保健所又は市町村役場にお問い合わせ下さい。

県庁専門郵便番号の設定について

4月1日から、警察本部を除く県庁あて郵便物は、県庁専用郵便番号「930-80」と受取人名を記入すれば配達され、住所は不要となります。

啓

4月は「土地月間」です。

国土庁では、毎年4月を「土地月間」として、土地についての基本理念や地価公示制度等の普及を図っています。

みなさんの相談窓口

●県政について
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民相談電話)
高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411(代)
魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311(代)
砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151(代)

●物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
●消費生活については
消費生活センター
富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内
(一般相談は) ☎(0764)32-9233
(金融相談は) ☎(0764)32-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777
●交通事故については
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111 内4400
●相談110番 相談
家庭問題・悪質商法・覚えし刑など、どんな相談にも応じます。☎(0764)42-0110

●シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内 ☎(0764)41-4110
●よい子の育児電話相談
子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。☎(0764)33-4150(県庁生涯学習室内)

県からのホットニュース

見て、聞いて、ご意見をお寄せください。
●テレビ広報
■チューリップテレビ 毎週土曜日 AM9:30～9:45 「志の輔のふるさとトーク」
■富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス・イン」
■北日本放送 毎週日曜日 AM11:00～11:30 「こんにちわ富山県です」
4/2 体験しよう県政バス教室
4/9 私たちのふるさとづくり ～下村～
4/16 つくり育てる漁業
4/23 さわやかな環境をめざして～全県域下水道化構想～
4/30 春の自然ウォッチング
●ラジオ広報
■FMとやま「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。毎週月～金曜日 AM9:50～9:55
●新聞広報
■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」

平成7年4月街頭献血日程

日曜日	献血場所	時間
5日	高岡市「ジャスコ高岡店」 ショッピングセンター前	10:00～16:00
8日	滑川市役所前	12:30～16:00
14日	魚津市「サンブラザ」 ショッピングセンター前	10:00～16:00
18日	入善町商工会館前	9:30～16:00
21日	富山西武デパート前	10:00～16:00
22日	福岡町役場前 福岡町JF福岡駅前	9:30～11:30 12:30～16:00
28日	大島町「アプリオ」 ショッピングセンター前	10:00～16:00

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。
◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日及び第2・第4日曜日も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。(受付時間9:00～16:45)
富山県赤十字血液センター
富山市飯野26-1 TEL(0764)51-5555

カルテラバス及び親子バス運行分

6月8日(木)～6月30日(金)
(夏休み期間に運行)
9月運行分 6月29日(木)～7月14日(金)
10、11月運行分 8月1日(火)～8月17日(木)

応募は、往復はがきで

〈団体〉	
(住所)	・団体 ・代表者氏名・年齢・住所 ・参加人数 ・電話 昼間連絡先 ・コース及び運行日 第一希望 第二希望
(氏名) 様	
〈個人・グループ〉	
(住所)	・氏名・年齢・住所 ・参加人数 ・電話 昼間連絡先 ・コース及び運行日 第一希望 第二希望
(氏名) 様	

※団体とは、単一団体又は数グループで構成された概ね25～35名の集団をいいます。

平成7年度 県民カレッジ連携講座 消費者スクール受講生募集

県消費生活センターでは、「21世紀の暮らしを考える」自立と共生、心の豊かな社会をめざして「をメインテーマに5月12日(金)から11月10日(金)までに10講座を開講します。【第一回】5月12日(金)午後1時から
テーマ 「消費者の自立と共生」
ー美しい心と連帯感をはぐくむためにー
講師・奈良女子大学助教授 長嶋俊介氏
開催場所 富山市安住町第一生命ビル8階ホール
募集人員 一般県民 約120名
受講料 無料
問合せ・申込み(第二回以降の日程・内容等含む)
富山県消費生活センター
〒930富山市安住町7-18(富山安住町第一生命ビル内)
☎0764-32-2949 ㊟0764-31-2631

富山県立近代美術館企画展 版画にみるマチスの世界

フランス近代美術の巨匠、マチスが初めて版画に着手し、急激な地価高騰を防止し、適正な地価形成を図るため次の事項にご協力をお願いします。
地価公示等の活用
県内主要地点の地価を地価公示として三月に、地価調査として九月に、毎年公表しています。土地取引の際には、目安となる価格としてご利用ください。
土地取引の価格等の届出
一定規模(市街化区域2000㎡、その他の都市計画区域5000㎡、都市計画区域以外の区域10000㎡)以上の一団の土地について、土地売買等の契約を締結しようとする場合には、あらかじめ、取引予定価格等の届出が必要です。
問合せ 県庁水雪土地対策課 ☎0764-44-3131
または、各市町村役場

新入学(園)期の交通事故防止

新一年生が町にあふれるこの時期、子供の「飛び出し」には、十分気を付けましょう。
運転中、子供を見かけたら、「飛び出し」を予測して、減速・徐行に心掛けましょう。
また、新入学(園)児のいる家庭では、入学(園)式前に、子供と一緒に通学(園)路を歩き、危険な場所や道路の正しい横断方法を教えてあげて下さい。
正しい交通ルールと交通マナーを身につけさせることも、今日のくるま社会では大切な家庭教育の一つです。

「ちびっこ天国in海王丸パーク」開催

4月29日(出)から5月7日(出)までの9日間、海王丸パークにおいて「ちびっこ天国in海王丸パーク」が開催されます。変わり種自転車、バッテリーカー、ミニSコーナーや各種ゲーム大会等楽しいイベントが盛り沢山です。みなさんのお来場をお待ちしています。
問合せ 伏木富山港振興財団 ☎0766-821588

不動産取得税について

不動産取得税は、土地や家屋を購入したり家屋を建築するなどして、不動産を取得したときに、その取得した人に限りかかる県税です。
税額は、取得された不動産の価格に4%(住宅の場合は3%)の税率を乗じたものです。
この不動産の価格は、買入れ価格や建築工事費等には関係なく、全国一律の「固定資産評価基準」によって評価され市町村の固定資産課税台帳に登録されている価格をいいます。
また、新築家屋のように価格が登録されていない場合には、この固定資産評価基準により評価し、決定した価格によることとなります。
ただし、宅地や宅地並に評価された土地を
①平成6年中に取得した場合は固定資産課税台帳登録価格の2分の1をもとに
②平成7年及び平成8年中に取得した場合は同価格の3分の2をもとに課税され、税負担が軽減されることとなります。
なお、この他にも、住宅や住宅用土地を取得したときは、税の負担が軽減される場合がありますので、詳しくは、最寄りの県税事務所へおたずねください。

水辺は危険がいっぱい

これから農繁期を迎え、農業用水は水かさが増し、流れも速くなります。
昨年、用水に転落し水の事故にあった方は22人もいます。水難事故を防止するため、次のことに注意しましょう。
一、用水付近での農作業や通行は、転落しないよう足元に気をつけましょう。
二、幼児を用水や池等の水辺で遊ばせないようにしましょう。
三、雪が降った直後は、表層雪崩の危険性があるので、できるだけ行動を慎みましょう。
四、悪天候が予想されるときは、行動を中止し、安全な所へ引き返しましょう。
五、山菜採りは、目印をつけて道に迷わないようにするとともに、転落、滑落に注意しましょう。

うしろかな春山も冬の対応を!

里は春でも山はまだ冬。吹雪や雪崩に遭うことも珍しくありません。また、山菜採りでの事故も多発します。遭難事故を防ぐため、次のことに注意しましょう。
一、雪渓や雪積では、アイゼン、ピッケルを確実に使用しましょう。
二、雪が降った直後は、表層雪崩の危険性があるので、できるだけ行動を慎みましょう。
三、悪天候が予想されるときは、行動を中止し、安全な所へ引き返しましょう。
四、山菜採りは、目印をつけて道に迷わないようにするとともに、転落、滑落に注意しましょう。

四月

宮崎の稚児舞

朝日町

暮らしのQ&A



春風のなか、

伝統の舞いはれやかに

朝日町宮崎鹿島神社の稚児舞は、春も本番を迎える四月八日、九日の両日に行われる。

舞い手は七歳の子どもたち。男の子は白鉢巻きに紋付き姿。舞いは「やり踊り」。幾人も並んでしゃがんだ若い衆が「城の越からネエリゃんこさんよ」と拍子木をならしながら歌うと、手に持った小槍を打ち振る勇ましく舞う。

女の子は紫の振り袖に花笠をかぶった華やかな出で立ち。舞いは「扇舞」。「四国屋島の壇の浦扇要を射落とした」との若い衆の歌に、「サヨイサナンジャイナ」と日の丸の扇をひるがえすと、手に付いた鈴が鳴り、舞いの艶やかさを引き立てる。

若い衆たちに引率された子どもたちは、社頭で五穀豊饒と大漁を祈ったあと、一軒ずつ街を練り歩き、最後に神社に舞いを奉納して祭りは終わる。稚児舞の起源は定かでないが、宮崎の豪族、宮崎党に連れだつて都から来た京舞に通じた者が完成したと推定され、平安末期ごろから伝えられてきたといわれる。歴史を育んできた伝統の祭りに見物する人の顔も和む。

暮らしのQ&A



ご存知ですか？ 加工食品の日付表示が変わります。

今度、加工食品の日付表示が「製造年月日表示」から「期限表示」になると聞きましたが、どのように変わるのですか？

A

加工食品の日付表示は、今まで原則として「製造年月日」が使われていました。しかし、多様化した加工食品の日持ちを消費者がより適切に判断できるように、四月からは、食品を保存性や品質の経時的変化の速さ等の特性別に、次の三つのグループに分類し、分別の「期限表示」を行うこととなります。

Q

①弁当や生めんなど品質が急速に変化しやすいものについては、「消費期限」を年月日で表示します。
②ベーコンやハムなど品質保持が三か月以内のものについては、「賞味期限」(品質保持期限)を年月日で表示します。
③即席めんやジャムなど、品質保持が三か月を超えるものについては、「賞味期限」(品質保持期限)を年月日で表示します。ただし、ブランドなどのように、保存性が極めて高い食品については、日付の表示を省略することができます。

なお、新しい日付表示の制度については、二年間の経過措置が設けてありますので、平成九年三月までは、両方の表示が混在することになります。これらのことを参考にして下さい。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9233、高岡支所、電話0766(25)2777

編集後記

★「インタハイ優勝はもう何年も前のことのようにです。」と山田さんはいう。結果が良くてもそれに甘んじることはしない。逆に悪くても後悔はしない。また、先々の試合のことをあれこれ考えたりもしない。自分にあるのは、いまこの時だけだということ。そこに瞬間を生きる彼の「スキー魂」を見た。(K)

★瑠璃色という色がある。深いブルー、宝石のラピスラズリの色。グレーの雲に覆われた空を見慣れた目には、春の青空はひととき鮮やかで、まさしく瑠璃色。

さて、春といえは何かウキウキするもの。新たな出会いに期待もふくらむ。桜の便りももうすぐ聞えるだろう。瑠璃色の空のもと、新年度に向かって元気にステップアップを！(くれぐれも「ブルー」な気分にはなりませんように)(N)

★今回、取材で訪れた山田村は、牛岳スキー場を中心に様々な施設の整備が進んでいる。その一つ、コテージ木MAMAにおじゃました。あの扉を開けた瞬間に、ほのかに漂った木の香りは今でも忘れられない。是非一度、気の合う仲間と遊びに行つてその雰囲気を楽しんでみたいと思う。(Y)

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真
を抽選で5名の方にワイド六ツ切(25×18
センチ)でプレゼントします。希望される
方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込
みください。5月24日消印有効です。

富山県広報課
写真プレゼント
4月号係あて

93080

富山県広報課
写真プレゼント
4月号係あて

氏名
住所
電話
本誌を読んだ感想

いい旅いっぱい、いきいき富山

いきいき富山観光キャンペーン'95

キャンペーン期間／平成7年4月1日～10月31日
 問合せ／いきいき富山観光キャンペーン実施協議会
 ☎0764 (41) 7722



桜の蕾がほころび始めると、いよいよ「いきいき富山観光キャンペーン」のスタート。
 期間中は県内各地で魅力あふれるイベントが目白押しです。見どころいっぱい、「いきいき富山」で素敵な旅をお楽しみください。

日本チンドンコンクール

富山市

4/8(土)～4/9(日)



95となみちユネッサンフェア

砺波市

4/22(土)～5/7(日)



ホタルイカ観光

滑川市

4/8(土)～5/28(日)



高岡御車山祭

高岡市

4/30(日)～5/1(月)



行こう！288イベント

県内の催しやお祭りなどを紹介した情報誌「EVENT288」が出来上がりました。この冊子はイベント日程や交通機関、問い合わせ先などを網羅。また、とじ込みのジョイフルカードを持参すれば、キャンペーン協賛施設で入場割引などの特典を受けることができます。観光案内所やJR主要駅、富山駅前C i C 5階いきいきKANでお求めください。(無料)



広報とやま 平成7年4月号
 企画発行 富山県企画部広報課 富山市新総曲輪1-7
 ☎31-31-31 (県民相談電話) FAX 44-33-00 (県民相談ファックス) 印刷 チューエツ